

2019年度学校評価表

学校教育目標	地域社会及び保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に応じて、保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。
--------	--

ミッション	看護に必要な知識・技術・豊かな人間性を養い、保健・医療・福祉に貢献しうる有能な人材を育成する	ビジョン	地域から高い評価が得られるような学校づくりができる。
-------	--	------	----------------------------

評価計画					自己評価					改善計画	
中期目標(4年間)	短期目標(1年間)	対策	評価指標	目標値	6月	10月	2月	達成度	評価	結果と課題	対策
					達成値	達成値	達成値				
看護の向上を目指して、探求心を養い、資格習得ができる。	環境を整えることで学校生活満足度80%以上の学生が6割以上を占める	学校全体やクラスで活動することを肯定的に捉えることができるよう支援	アンケート調査	学校生活満足度80%以上が6割以上を占める。	満足度80%以上は27%で6割以上にはならなかった。満足度60%は48%と多かった	満足度80%以上は34%で6割以上にはならなかった。満足度60%は44%と6月と同じ結果であった。	満足度は80%以上は46%で6割以上にはならなかった。満足度60%は34%であった。80%以上の満足度が6月から少し上がったが6割以上にはならなかった	6月:45% 11月:56.6% 2月:76.6%	6月:D 11月:D 2月:C	満足度80%以上については6月は27%、11月34%、2月は46%で徐々に満足度は高くなったが6割以上にはならなかった	・引き続き学習環境を整える ・クラスのよい人間関係が築くことができるように指導していきたい
		学習環境や施設設備を整え教育環境を整える。			2月のアンケートは6月・10月と比較して少し上がったが、満足度80%以上の学生は46%であった。6割は到達できなかった。古い施設ではあるが、きれいに使用していることや学習できる環境や講義など満足しており学習環境は良いと考える。しかし個々のクラスでの人間関係などから満足につながっていない。						
	模擬試験のクラス偏差値が全国偏差値50を上回る。	偏差値44以下の学生に対して解剖生理学など基礎的知識が身につくよう支援する	模擬試験結果	クラス偏差値が全国偏差値50以上上回る。	4年生と3年生の偏差値50以上であり目標は達成できている。	4年生と3年生の偏差値50以上で目標は達成できている。	前期偏差値平均51.7 2月偏差値平均48であった	6月・11月103% 2月96%	6月・11月:A 2月:B	4年生の6月・11月模擬試験の結果 50以上で全国偏差値を上回った。3年生は5月・12月・3月とも偏差値50以上であった。1・2年生は、偏差値50以下であった。しかし昨年度よりも2年生は偏差値が上がっている。	偏差値が上がるように、各学年必要な単位を修得し、点数も国家試験合格するレベルである75点以上とれるように指導していく
		わかりやすく学習意欲がもてるような授業を行い、継続して自己学習することができる			脳ナビの参加率悪かったり、再試験者が多くなっている	3・4年生と比較して1・2年生は学力的にやや低い。学習する力を強化する必要がある。	・1・2年生の学習力強化。 ・1年生から国家試験対策 ・個別学習指導 ・定期的な学習会開催				

参考資料：尾道市学校評価実施要項資料を一部変更

$$\text{達成度}(\%) = \text{達成値} \div \text{目標値} \times 100$$

評価

A: 100 < (目標達成) B: 80位上100未満(ほぼ達成)

C: 60以上80未満(もう少し) D: (<できていない) <60

4月達成値⇒4月末までのデータを5月第3週目(金)までに提出。
9月達成値⇒9月末までのデータを10月第1週目(金)までに提出。
3月達成値⇒3月春季休業までのデータを春季休業開始1週間以内に提出。

模擬試験 1年:3月 2年:3月 3年:夏前・3月 4年:年7回 模擬試験評価:9月に3・4年評価

51.70	49.20
51	55.8
51.1	45.7
53	41.5
51.70	48.05
前期	後期